が、

教育における時間のとら



れ る 時 間

個人の一

生

世紀ドイツで練りあげられた大

日本の大学は、

その源流を19

そこでは、 明治期に、 学モデルに辿ることができます。 変えつつあります。 家の担い手を再生産することが 合わせながら取り入れたのです。 体と類似した組織形態へと姿を とで、大学は、 た。これに対して、最近はグロ おもな存在意義となっていまし バル化へ向かう経済環境のも このモデルを国情に 将来へ向けて国民国 超国家的な企業

ます。 には そして大学教育はその企業が提 られるようになりました。 供する高額な「商品」として見 ランキングの対象ともなってい いまや、大学は企業として 「質の保証」が求められ 学生とその保護者は、 のではないでしょうか。

す。

習にどれほどの時間を費やすか ったのです。 したがって、ある意味で、 それほど問題にはならなか その枠をはるかに超えて 大学で過ごす時間 学

置づけられます。

こうした変化を象徴的に示す

消費者やクライアントとして位

わば、

こうした商品を購入する

ろのない-ていることに自ら気づくことな 発見すべき大切なものが存在し うのは、何を教えられたかには めにありました。この覚醒とい 覚醒の瞬間が訪れるよう促すた え方ではないでしょうか。 本質的に関係なく、その背後に れ、大学で流れる時間は、その なプロセスとしての知の探究に ツ語を訳したものです。永続的 たる人格の形成を意味する 盤をなしていました。そもそも 養」という、何ともとらえどこ ての大学では、 目覚めることが何よりも重視さ に魅惑的な 教養」という語は、 B i dung 。というドイ しかし、 ものが教育の基 いわゆる それゆえ 生涯にわ かつ

おける教育や学習が、 位の実質化」をはじめ、 識の所産を伝達・獲得し、 アナロジーでとらえられている ています。 さまざまな点で厳しく管理され ようになりました。そして、 私見ですが、 労働との 大学に

ます。 ぶんに役割を果たしていたので 象ではないかと考えています。 のモデル転換を徴候的に示す現 の仕方ですが、これこそ、大学 奇妙にも誇らしげに語ってくれ 教員が授業をしなかったか)を どでずっと前の卒業生にお話を かもしれません。 5 かつての大学は、これでじゅう 口をそろえて、学生時代にいか る永遠の営みとの関係でとらえ に勉強しなかったか(あるいは れたのですから、 今では考えられない自慢 ある年代の方々までは 大学の行事な それも当然

の時間の中でいかに効率的に知 た成果をあげるかが求められる これに対して現在では、 時間が 所定

古屋大学学生論文コンテスト

あるいは人類によ 学が大学としてあり続けるため げるわけにはいきません。 ろ その上で高等教育の充実につい いのです。 には重要であると思えてならな な疑問を投げかけることが、 想することに対しては、 という資本の交換との類比で発 ても考えるべきでしょう。 として認める必要があります 趨勢であることは、 といえるでしょう。 ノスタルジアから議論を立ち上 以上のような傾向が世界的 教育をもっぱら商品や労働 かつての大学への素朴な まずは事実 (木俣元二) 根本的 もち

名古屋大学

今年度の応募受付が 始まっています

学部学生にぜひ ご紹介ください!

締切は来年1月14日です

http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/ronbun/

メ、論文へススメ

「大学教員をめざす君へ」を開催!!

コミュニケーションスキル向上のための2日間集中プログラム」を7月28日(水)・ 高等教育研究センターでは「大学教員をめざす君へ 29日(木)に開催しました。大学院生やポスドクを対象とする課外ワークショップで、共催のFD·SD コンソーシアム名古屋に加盟する南 山大学や中京大学からも参加者がありました。

今年度のプログラムはスキル中心、ワーク中心に企画しました。参加者からは、実践的な内容で学生としての研究活動にも役立てられ そう、新鮮だった、もっと時間をかけて取り組みたかった、といった感想が寄せられました。当センターでは、来年度に向けたプログラ ムの検討がすでに始まっています。 (齋藤芳子)



学んだばかりの基礎知識をもとにスライドを修正する



グループワークでファシリテーションを体験する



声色や間の取り方による違いを聴く

わらばんへ スまでお の 皆 寄 せくださ さまのご意見 (1 ご感想を裏面

の E

Ϋ́

ル

ある大学を共同利用拠点として 教育関係共同利用拠点の認定 2010年から始まりま 教育関係の活動で実績の 大学、 このうち FD・SD では医学 看護学教育、

により、 を受けました 2010年度は12大学が認定 SD)等の実施機関のほか、 向上させようとする取組です。 間ネットワークを構築すること 文科省が認定するものです。 点大学のもつ人的・物的リソー 人の共同利用を促す一方、 語教育センター、 教職員の組織的な研修(FD・ が対象となっていま 農場2 大学全体の教育水準を S D 練習船、 大学 \Box

ム名古屋」

の幹事校として、

古屋地域の大学と連携して、

大学の教育力向上のために、

当センターが担当します。これ

まで「FD・SD コンソーシア

種の ける教育改善の取組状況や今後 F D 東海地域の大学の教職 ・SD を実施してき

大学への普及の可能性

る充実・発展に努める所存です

(夏目達也

す

ることができます。

含まれています。 の専門分野を特定したもの計3 この4大学には東北大学、 本学の FD・SD 拠点は 愛媛大学のほか、 それ以外計4大学です 障害者教育 本学も

回の認定は、こうした実績や他 開発を進めています。 れらの活動を支える各種教材の 教育能力形成ワークショップ等 を開催しています。さらに、 たびたび紹介してきました。 **沽動内容については、** 大学教員志望の大学院生向けの 職員向け研修の実施 本紙でも これらの FD·SD についても、

つねに質の向上をめざす本学の

全国に向けてアピール

により、学生の教育を重視

催しています。 換を行う「大学教育改革フォー 別の教育改善、英語による授業 の進め方について率直に意見交 哲学、経済学の各専門分野 in 東海」 を、 学内では、 毎年1[回開

の交流の促進を図ることになり 大学と連携して、 当センターでは、 従来の活動を 幅広

学は、こうしたネットワーク間 共同利用拠点の認定を受けた大 クが形成されており、 ことが一般的になってきました。 が協力して教育改善に取り組む

ては

マイクロティーチング Microteaching

教員養成における教育方法のひとつにマイクロティーチングという手 法があります。マイクロティーチングとは、5分から15分程度の短い 時間で、小グループの学習者役を対象に教師役が模擬指導を行い、その 批評や評価を受けて改善に取り組むことで、教授法の技能を習得する方 法です。

Higher Education Glossary

高等教育にまつわる用語集

マイクロティーチングは、学習者間で教員役と学習者役を決めて実施 するロールプレイング法のひとつの形態といえます。看護婦役と患者役 を決めて行う看護技術実習、被告人、裁判長、弁護人などから構成され る模擬裁判実習など、現在ではロールプレイング法はさまざまな分野で 活用されるようになっています。マイクロティーチングは、1963年に スタンフォード大学で開発された手法と言われています。当時は、5分 間の模擬授業、10分間の評価と批評、15分間の休憩、5分間の再授 業という構成でした。現在では、世界中の教員養成や現職教員研修にお いて活用されています。また模擬指導の状況をビデオで録画し再生しな がら改善点を検討するという方法も一般的になっています。

このマイクロティーチングという方法は、大学の FD 活動においても 注目されています。ハーバード大学にあるデレック・ボック教授学習セ ンターの教授法研修のひとつの柱は、マイクロティーチングです。6名 の教員が教師役と学生役を順番に担い模擬指導を行いながら、教授法の 技能を向上していくという方法です。参加者が希望すれば教授学習セン ターのスタッフと共にビデオを視聴しながら議論することもできます。 教授学習センターのホームページには、「マイクロティーチングは、短 い時間で実施可能で、効果が実証され、かつ楽しい手法である」と記さ れています。

近年では、日本の大学の FD 活動においてもマイクロティーチングを 活用している事例が増えてきています。名古屋大学においては、英語に よる授業のワークショップや大学院生対象の大学教員準備プログラムな どで活用されています。 (中井俊樹)

Great Books on University

『不純なる教養』

白石嘉治 著 青土社 2010年

大学と思想をめぐる本書において、著者は一貫 いかねないという危惧に発しています。そして、 競争に任せた政治)を批判し、大学は市場原理か ら解き放たれなければならないと主張します。

られないものまで資本の論理に取り込まれてしま(そ大学は存在する意義があるのではないのか、と)思います。

して、ネオリベラリズム(小さな政府による市場 いまや市場原理に取り込まれつつある大学には、 政治経済などとは一定の距離をおいて思想を営む 「不純な」場所だからこそ世界を動かす力を持ち けれども、大学の価値について改めて考える機会 著者のネオリベラリズム批判は、もしこれが拡 得た歴史があります。この史実を紐解きながら、 を与えてくれる一冊です。思わずひきこまれる文 大推進されれば、人間の存在のような値段のつけ 値段のつけられない公共的な価値を認められてこ 体の快楽とともに、深く味わっていただけたらと

著者は問うのです。

さらに充実させる予定です。こ

ヨーロッパでは学費が低額に抑えられ、米国で は奨学金が充実しているなど、世界的には大学が 無償であることが常識、良識とされています。一 方日本の大学では、公的資金の削減によって学費 の値上がりが続きます。そのなかで大学の無償化 を唱え、市場原理との切り離しを訴える本書は、 一見すると無力にしか映らないかもしれません。

高等教育研究センタースタッフ(2010年10月現在)

センター長 木俣元一 専門領域:西洋中世美術史

夏日達也

教授

助教

専門領域:高等教育学、技術・職業教育論

准教授 近田政博

専門領域:比較高等教育学、学習支援 准教授 中井俊樹

専門領域:大学教授法、高等教育マネジメント

専門領域:科学技術社会論

齋藤芳子

研究員 西原志保

専門領域:日本語表現、文学教育、日本古典文学

伊藤奈賀子

専門領域:高等教育学、アカデミックライティング

〈平成22年度 客員〉 陳 向明 (中国・北京大学)

キャサリン・マナトゥンガ (オーストラリア・クイーンズランド大学)

羽田貴史 (東北大学) 飯吉弘子 (大阪市立大学) 福留東土 (広島大学)

名古屋大学高等教育研究センター

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

Tel 052-789-5696 Fax 052-789-5695

E-mail info@cshe.nagoya-u.ac.jp URL http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/